

# 平成29年度益子町教育委員会活動状況評価報告

## 1 点検・評価について

### (1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果について報告書を作成し、議会に提出するとともに公表をする。

### (2) 目的

教育委員会の各施策・事業について着実に実施されているか、また、効果的に行われているかについて、教育委員会自ら点検・評価を行うことにより、今後より一層の教育行政を推進するとともに、町民に対し教育行政の説明責任を果たしていくことを目的とする。

### (3) 点検評価の方法

点検・評価の客観性を確保するほか、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、教育委員会活動の自己点検・評価外部検討委員会を開催して、教育委員会の各施策・事業について各担当より説明し、外部評価委員から意見、助言を求める。

#### 外部評価委員

氏 名	所 属 等
渡 邊 重 雄	元町議会議員
佐 藤 巧	P T A代表
大 岡 久 江	元小学校長
芝 山 勝 美	民生児童委員代表

### (4) 評価方法

評定はAからDで行い、Dは改善策を示す。

- A 目標を大きく上回り優れている。
- B 目標を上回り良好であるが改善の余地がある。
- C 目標上にあり満足であるが改善すべき点がある。
- D 目標を下回り改善を要する。

## 2 点検・評価結果

### ◎評価のまとめ

<b>(1) 教育行政全般</b> ( 評価最頻値 : A )	
<b>ア 特に良好であった内容</b> ①教育委員が出席する行事への参加について	
<b>イ 特に改善を要する内容</b> なし	<b>改善策</b>
<b>(2) 学校教育</b> ( 評価最頻値 : A )	
<b>ア 特に良好であった内容</b> ①小学校外国語活動（英語）の取組について ②備品管理について（データベース化） ③中学生海外派遣事業の実施について ④学校給食について	
<b>イ 特に改善を要する内容</b> ①奨学資金の未納者対策について	<b>改善策</b> 未納者に対し、引き続き納付の呼びかけを行う。
<b>(3) 生涯学習</b> ( 評価最頻値 : A )	
<b>ア 特に良好であった内容</b> ①文化遺産を活用した地域活性化事業について ②はが路ふれあいマラソンについて	
<b>イ 特に改善を要する内容</b> ①地区ぐるみ体育祭について	<b>改善策</b> 多くの方が参加できるよう、事業内容の検討を行う。

〔 教育行政全般 〕

項 目	評 価 指 標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
1 教育行政基本方針の策定	(1) 新教育基本法を踏まえ教育行政基本方針が策定されている。	A	毎年2月、定例教育委員会で「益子町教育行政基本方針」を策定している。	A	
	(2) 教育行政基本方針を議会に公表している。	A	2月の全員協議会において説明している。		
	(3) 毎年度教育基本方針の内容を見直し、その成果を評価している。	A	成果指標のとおり目標が達成された。		
2 定例教育委員会	(1) 定例教育委員会開催の告知をしている。	A	町内3か所の告示板で告示を行うほか、広報ましこ「お知らせ版」にて告知している。	A	【意見】 教育委員にはできるだけ長い任期を務めてもらいたい。
	(2) 会議では適切な意見交換が行われている。	A	教育長の進行により各委員から積極的に意見が出されている。		
	(3) 定例教育委員会には全員の教育委員が出席している。	A	定例教育委員会時に日程を調整し、全員出席している。		
	(4) 会議録が整理されている。	A	会議録を整備している。		
3 教育委員会の評価と結果公表	(1) 教育委員会の活動について評価を実施している。	A	平成20年度から活動状況点検と評価を実施している。	A	
	(2) 評価結果を公表している。	A	毎年議会に報告するほか、益子町HP上において公表している。		

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
4 教育委員が出席する行事	(1) 委員が出席する行事は、委員間で協議し、共通理解をしている。	A	定例教育委員会において、予定表に基づき行事日程を協議・理解している。	A	
	(2) 教育委員が出席する行事は関係委員が出席している。	A	欠席とならないよう、日程の調整をしている。		
5 教育委員研修	(1) 教育委員研修は芳賀管内で連携し実施している。	A	教育事務所等を中心に連携・実施し参加している。	A	
	(2) 研修に教育委員が積極的に参加している。	A	研修内容等を事前に検討し参加している。		

〔 学校教育 〕

項 目	評 価 指 標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
6 小学校外国語活動（英語）	（1）年間指導計画・学習指導案に基づき、学級担任主導で毎時間ALTとのチームティーチングで外国語活動を実施し、児童のコミュニケーション能力の素地を育成している。	A	児童アンケートより「外国語活動（英語）の授業は好きである：80.2%」「英語を使って、コミュニケーションができるようになりたい：84.2%」「外国語活動（英語）の授業で、先生や友達とのコミュニケーションは楽しい：86.5%」の肯定的な回答率を得た。児童が積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成することができた。平成29年11月2日（木）、田野小学校において、教育課程特別校中間発表会を開催し、これまでの成果を町内外に発表できた。	A	○小学校の英語教育は他市町に比べ、積極的にやっていると思う。
	（2）授業研究会や外国語活動研修会、授業力アップ講座を行い、授業改善への取組を推進している。	A	授業研究会や外国語活動研修会、授業力アップ講座等を複数回開催し、推進状況の確認と教師の指導力向上を図った。		

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
7 魅力ある学校づくり	(1) 児童生徒指導部会や研修会等を行い、小中学校が連携し、不登校やいじめを未然に防ぐことをねらいとした取組を推進している。	A	hyper-QU調査から全学年で全国平均を上回り、特に小6から中3は全国平均を大きく上回る良好な結果を得られた。指導者が帰属意識の高い学級づくりを行い、児童生徒一人一人の自己有用感を高められた。	A	
	(2) 全国学力・学習状況調査やとちぎっ子学習状況調査、益子町学力学習状況調査を実施し、その結果を分析し、児童生徒の学力向上に向けて、組織的に取り組んでいる。	B	各学校の学力向上改善プランの作成を支援し、学習指導に関わる検証改善サイクルを確実に運用させ、児童生徒一人一人の学力や教師の指導力の向上を図った。		
8 特別支援教育	(1) 対象園児・児童生徒の様子を観察し、保護者と教育相談を行っている。	A	平成29年度から年長児を対象とした各園への巡回相談を開始した。それにより対象となる子どもの現状把握を行うことができた。臨床心理士、園、学校、保健センターとの情報共有をより密に行うことができ、早期から保護者との教育相談に取り組むことができた。	A	

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
8 特別支援教育	(2) 能力に見合った適切な教育機関への就学指導を行っている。	A	対象となる子どもの保護者に対し、知能発達検査を実施し、客観指標をもとに就学相談を複数回実施した。指標の採用や資料等により対象児童への指導方針も明確にすることができた。		
	(3) 教育支援委員会を適宜開催している。	A	昨年の反省点を踏まえ、総括資料の様式や掲載内容、委員会の進行方法を変更し、実施した。		
9 備品管理	(1) 学校備品台帳のデータベース化を推進している。	A	新規購入物品についてデータ入力を行った。	A	
	(2) 既存台帳の整理を随時行っている。	A	既存台帳内容の確認を学校ごとに実施し、事務局保管台帳の加除を行った。		
10 生活適応指導教室の運営	(1) 学校生活適応指導教室の運営が円滑に行われている。	A	室長を中心に通級児童生徒に対してきめ細やかな指導助言に努め、充実した運営を行った。	A	

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
10 生活適応指導教室の運営	(2) 通級児童生徒が在籍校へ復帰できるよう適切な指導助言を行っている。	B	今年度は7名の生徒がつばさ教室に通級し、そのうち3名が学校に部分復帰できた。また残りの4名は、ほぼ毎日つばさ教室に通級することができた。今後も学校と保護者との連携を深め、児童生徒が早期に在籍校に復帰できるよう促していく。		
11 中学校衛生設備改修工事	(1) 教員等学校現場の意向を反映している。	A	設計の段階から、学校と綿密に連携を図り、意見を反映させた。	A	
	(2) 事業に必要な財源の確保がされている。	A	国の補助金を活用した。		
	(3) 計画通りの工期に従い実施されている。	A	計画どおり実施した。		
	(4) 工事に伴う生徒の安全確保がなされている。	A	隔週開催されている工事打合せの中で、生徒の安全確保に努めるよう指示した。		
12 学校施設管理	(1) 学校の実態を十分に把握し、適切に学校施設の維持管理を行っている。	B	学校の実態を把握した上で、緊急性の高いものから順次修繕を行った。	B	
13 中学生海外派遣	(1) 中学生海外派遣事業実施委員会を開催し、派遣先やカリキュラムの検討を行っている。	A	実施委員会で検討を行ったほか、学校交流のプログラムを学校間で調整し、満足度の高い派遣を実施することができた。	A	○参加者の評判も良いので継続して実施してほしい。

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
13 中学生海外派遣	(2) 派遣する中学生の事前指導・事後指導が円滑に行われている。	A	学校の協力を得て事前・事後指導が実施できた。		
	(3) 派遣中の情報収集、保護者への情報提供が適切に行われている。	B	メールにより写真などを添付し情報提供を行った。保護者から、情報提供の回数を増やしてほしいという意見が多数あった。		
14 奨学資金貸与	(1) 経済的に修学が困難かつ、修学の意欲のある者に奨学資金貸与制度の周知を行っている。	A	町内中学、郡内高校に申請書を配布するとともに、広報紙で制度の周知を行った。	B	【意見】 未納者数は減ったが、引き続き対応をお願いしたい。
	(2) 奨学資金の未納者に対する追跡調査を行い、奨学資金の適正な管理を行っている。	C	引き続き、催告書の郵送や電話、戸別訪問を継続して行う。		
15 スクールバス運行	(1) スクールバスを円滑に運行している。	A	学校からの情報提供を得て円滑に運行できた。	A	
16 学校給食	(1) 委託業者との連携を密にし、安全・安心な給食の提供を行っている。	A	毎日、委託業者と打合せを行い、情報共有や共通認識をもつことができ、円滑に給食を提供できた。また、衛生診断により安全・安心な現場をつくることができた。	A	○給食はおいしい。

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
16 学校給食	(2) 地元食材を活用し地産地消に取り組み、安全・安心な食材の調達を行っている。	A	J Aと打合せをし、地元食材の優先的な使用に努めた。県、町農政課、生産者と連携し、農産物を安定的に供給する体制づくりに取り組んだ。また、食材の放射性物質検査を定期的に行い、食材の安全性を確認し、町ホームページで結果を公表している。		
	(3) アレルギーに配慮した給食の提供を行っている。	A	食物アレルギーを持つ児童生徒に対し面談等を行い、除去食の提供を適切に行った。また、文部科学省より示された「学校給食における食物アレルギー対応指針」に準じたアレルギー対応を平成30年度から行うため、「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」を作成した。		
	(4) 給食費の未納対策を行っている。	A	学校と連携し、未納解消に努めた。		

〔 生涯学習 〕

項 目	評 価 指 標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
17 生涯学習並びに社会教育の充実	(1) いきいき講座の利用促進・自主教室の充実を図っている。	B	いきいき講座は町民編68講座、行政編86講座を開設。また自主教室は51教室開催し生涯学習の充実を図った。	A	○いきいき講座の利用講座に偏りはあるが、開設講座数が多いのでもっと評価を高くしても良いのではないかと思う。 ○町民大学の卒業者が目標よりも少なかったが、内容は成功に値すると思う。 ▲地区ぐるみ体育祭の参加率をいかに高めるかが課題である。 <b>【意見】</b> 図書室内で読み聞かせ教室を行っているため、利用者から静かにしてほしいという意見を聞いた。
	(2) 学校支援ボランティアやコーディネーター交流会等を通し、学社連携・融合事業の推進を図っている。	A	ボランティア、コーディネーター、学校が一堂に会し情報交換を行った。		
	(3) 青少年教育並びに成人教育の推進を図っている。	B	青少年健全育成大会、男女共同参画の推進、女性団体の支援を行っている。また、青少年から高齢者まで各年代ごとに講座開設を行った。		
	(4) 地区ぐるみ活動等、地域コミュニティ活動の充実を図っている。	B	地区ぐるみ体育祭の開催、生涯学習推進協議会と連携した地域コミュニティの醸成を図った。		
	(5) 町民と協働し花で包まれたまちづくりを行っている。	A	大規模花畑や花いっぱいコンクール等を開催し、花で包まれたまちづくりを行った。		
	(6) 町民大学を開設し、まちづくりに関する講座の実施及びアクションプランを作成する。	B	22講座を実施した。アクションプランの早期作成を行う事が改善点である。		

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
17 生涯学習並びに社会教育の充実	(7) 図書の充実と図書ボランティアグループ支援を行い、図書活動の推進を図っている。	B	新刊本や児童書購入により、図書の充実を図るとともに、月ごとに新刊本の情報を掲示し、利用者へお知らせした。また、ボランティアと協力連携し利用しやすい図書室づくりを行った。		
18 文化関係事業充実	(1) 文化遺産を活用した地域活性化事業を実施する。	A	歴史文化基本構想推進委員会を立ち上げ、文化財の保存と活用を検討し推進する基盤ができた。そして、歴史講座や歴史めぐり、資料展示室での文化財の展示、古地図のデジタル化等を実施し、文化財の普及啓発につながった。また、第2回ましこ検定や初めての世間遺産認定を実施し、身近な文化財の再認識をすることができた。さらに、昨年度に引き続き日本遺産認定に向けた申請を行った。	A	○世間遺産認定は町独自の取組であり評価が高い。 ▲七井地区の山車格納庫の中が見られないのが残念である。

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
18 文化関係事業充実	(2) 芸術・文化の振興を図っている。	A	文化協会等文化団体の指導育成、文化祭、芸術祭の実施運営を行った。音楽祭は子供と大人の部に分け2回開催し、幅広い年齢層からの出演があった。また、益子町出身の若手音楽家の発表会を実施し、音楽を鑑賞いただく機会を設けた。		
	(3) 文化財の保護に努めている。	B	文化財保存事業の推進、文化財指定手続きの継続、文化財保護意識の啓発に努めた。		
	(4) 町民会館の管理運営及び受付業務を図っている。	A	利用者の安全確保、修繕工事の円滑な進捗、施設、機材のメンテナンスの徹底、利用者への適切な説明と適切な対応を図った。		
19 社会体育事業充実	(1) 総合型地域スポーツクラブの育成支援を図っている。	B	クラブと連携を図り、クラブのPRと事業の適正な執行に努めた。	A	○予定どおりに工事が終了しているのであれば、もっと評価を高くしても良いのではないかと思う。 ○スポーツ団体の育成について、行政はPR等を十分に行っていると思う。
	(2) 少年スポーツ教室を開催し、心身の向上を図っている。	A	リオ五輪出場選手を講師に招くなど、教室開催に努めた。受講者から満足度の高い評価を得た。		

項目	評価指標	自己評価		外部評価	
		評価	達成状況と改善策	評価	成果(○)と課題(▲)
19 社会体育事業充実	(3) 体育施設の整備、適切な管理運営を図っている。	B	町民センター外トイレの洋式化や総合体育館のエレベーター更新工事を行うなど、利用者へのサービス向上、安全確保に努めた。		
	(4) スポーツ団体の育成・支援を図っている。	B	スポーツ少年団、体育協会等の団体へ活動支援を行った。		
	(5) はが路ふれあいマラソンを開催を通し、地域住民のスポーツ参加意欲の向上と芳賀郡市のPRを図っている。	A	前回大会の指摘事項について改善を図り大会を開催した。参加者から満足度の高い評価を得た。		